

令和5年11月24日

令和5年11月羽島市教育委員会定例会会議録

令和5年11月羽島市教育委員会定例会会議録

令和5年11月24日、令和5年11月羽島市教育委員会定例会を羽島市役所本庁舎3階302会議室において開いた。

議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 報第23号 羽島市教育委員会の後援等承認の報告について
日程第3 ※報第22号 令和5年度準要保護児童生徒の認定等の報告について
日程第4 ※議第48号 羽島市学校給食費に関する条例施行規則の一部を改正する規則の改正案について
日程第5 ※議第49号 羽島市議会提出議案（令和5年度羽島市一般会計補正予算（第6号））に同意することについて
日程第6 ※議第50号 羽島市議会提出議案（令和5年度羽島市一般会計補正予算（第7号））に同意することについて
日程第7 その他
1 各課の事業進捗状況
（※印は秘密会で開催）

本日の会議に付した議事
議事日程に同じ

出席者

教育長（議長）	森	嘉	長
教育委員	黒	田	淳
教育委員	今	枝	甫
教育委員	春	日	民
教育委員	今	井	裕

説明のため出席した職員の職氏名

事務局次長兼教育政策課長	小	川	隆	正
学校教育課長				
兼教育支援センター長	高	橋	浩	之
西部幼稚園長補佐	林	優	美	
北部学校給食センター所長	竹	内	弘	明
南部学校給食センター所長	豊	田	崇	宏
生涯学習課長	岩	田	睦	巳
図書館長補佐	高	井	依	里
スポーツ推進課係長	中	尾	聡	

午後1時30分開議

日 程	発言者	発 言 の 要 旨
教育長挨拶	教育長	・ 本年度の学校訪問及び関係学校の教育実践講評会への各委員の参観・指導に感謝する。

		<p>教育実践公表会は羽島市独自のシステムで、各校が、あらかじめ決めた研究テーマについて授業を通じて研究発表し、講評を受けるものである。毎年3校ずつ発表してもらおうが、今年度は、竹鼻中学校で全教科、中央小学校で道徳、福寿小学校で算数が行われた。</p> <p>どの学校も、児童生徒の発達段階に応じて、学習や活動がよく考えられていたが、感じたことが2点あった。</p> <p>一つは、児童生徒がICTを有効に活用し、どの子も自分なりの考え方・感じ方・表現を持てる場が多くあった。それを基に他の子と交流し、授業の中で自分の考え方がどのように変わったか子ども自身も自覚しており、友達の意見に影響を受けたり、意見を参考にしたりといった面が強く感じられた。今、「個別最適な学び」や「協働的な学び」という言葉がよく使われるが、タブレット等が導入され、子どもの学びが進化したように感じる。</p> <p>もう一つは、実践や研修を通して、教員が自信を持つようになったことである。春先の学校訪問時と比べ、秋の公表会での様子は、自信に溢れているような雰囲気があった。それが子どもに反映され、子どもも非常に意欲的に学んでいた。</p>
開 会	議長	<p>出席委員が定足数に達していることから令和5年11月羽島市教育委員会定例会の開会を宣言する。</p> <p>報第22号から議第49号までについて秘密会としたい旨述べ、委員の発言を求める。(各委員から異議なしの声あり。)</p> <p>異議がないので、報第22号から議第49号までについて秘密会とすることが承認された旨述べる。</p>
日程第1	議長	本日の会議録署名委員に今井田委員を指名する。
日程第2	議長	報第23号を議題とする旨述べ、説明を求める。
	【説明】	<p>以下の後援事業の申請者、目的、事業開催内容等を説明する。</p> <p>【教育政策課長】 (木曾川三川流域第27回学童交流軟式野球大会、JFAなでしこひろばin岐阜羽島、羽島市音楽芸術協会ニューイヤークンサート、羽島市文化センター合唱団定期演奏会、第28回美濃織伝承会作品展)</p> <p>【学校教育課長】 (ロボット製作・無料体験会)</p>
	議長	委員の発言を求める。(発言なし。) 発言がないので日程第2 報第23号の報告を終える旨述べる。
日程第3	議長	報第22号を議題とし、秘密会で行う旨述べる。(以下日程第3、第4及び第5は秘密会)
日程第4	議長	議第48号を議題とする旨述べる。

日程第5	議長	議第49号を議題とする旨述べる。
日程第6	議長	<p>日程第5を終えたのち、追加議案（議第50号）を上程する。</p> <p>議第50号について秘密会としたい旨述べ、委員の発言を求める。（各委員から異議なしの声あり。）</p> <p>異議がないので、議第50号を秘密会とすることが承認された旨述べる。</p> <p>議第50号を議題とする旨述べる。（日程第6は秘密会）</p>
日程第7	議長	<p>秘密会を解く。</p> <p>各課の事業進捗状況の説明を求める。</p>
	【説明】	<p>【教育政策課長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度教育委員会定例会日程案について <p>【学校教育課長】</p> <p>(1) いじめの状況について</p> <p>令和5年10月21日から11月21日の間に報告があった事例は、児童9件、生徒2件の合計11件である。被害者が4名の事案があるが、これは4件としてカウントしている。</p> <p>小学校の案件は主に、言葉によるいじめや暴言である。相手が憎いわけではなく、つい発してしまう言葉が日常化し、その子には言っても良いと捉えてしまったようである。子ども同士の指導も含め、加害者・被害者ともに見守りを続ける方針である。</p> <p>中学校の案件のうち、1件は、生徒は謝罪を受け入れて仲良くしていこうという気持ちがあるが、保護者が謝罪を受け入れることができないという状況にある。もう1件は、生徒も保護者も謝罪を受け入れることができないという状況にある。謝罪受け入れは強制する類のものではないため、学校としては、いじめ事案と認定した以上、謝罪受け入れの有無にかかわらず、再発防止に取り組んでいく方針である。</p> <p>(2) 不登校の状況について</p> <p>10月の不登校の状況は、小学校・前期課程35名、中学校・後期課程108名の計143名であり、増加は抑えられている。後期の始まりを区切りに頑張ろうとする子どもたちの意識の強さと受け取っている。</p> <p>30日以上欠席は増加傾向にあるものの、支援員やスクールカウンセラー、相談員との関わりにより、7月以降会えていない児童が9月は30名いたが、現在19名に減っている。少しでも人と触れ合う機会を持てるよう、今後もアプローチを続けていく。</p> <p>(3) 交通事故・学校事故の状況について</p> <p>10月の交通事故は、2件であった。</p>

乗車中に車と衝突した事故、歩いていた児童と自転車に乗っていた生徒がすれ違いざまに接触し怪我をした事故である。学校へは、首から上の怪我の場合はまず病院へ行き、保護者へ素早く連絡を取るよう指導した。

10月の学校事故は、1件であった。

ステージ上に座っていた子どもの足を別の子どもが引っ張ったところ、ステージから落下し、左腕を骨折した事故である。現在、人工骨を入れて自宅療養中であるが、指導事案として重く受け止め、加害者の指導を行っている。なお、現在のところ被害者及び保護者は、加害者及び保護者からの謝罪を受け入れることができない状況である。学校としては、謝罪にかかわらず、学校事故の防止に取り組んでいく方針である。

(4) 感染症について

コロナはだいぶ落ち着いたが、インフルエンザは100人を超えることが常態化している。10月の学級閉鎖は20学級で、学校閉鎖が1校あった。換気等の対策は十分行っているが、今後も注意して声かけをしていく。

議長

委員の発言を求める。(委員から次の通り発言、確認あり。適宜職員等が次の通り説明し、了解を得る。)

【春日委員】

(1) 全国的な話でもあるが、熱があるにも関わらず登校したり、保護者が登校させてしまい、結局早退し、翌日、周囲の席の子たちが欠席する事例があると聞いた。

保護者が多忙のため子どもの状況を把握していない、急に休めないといった事情があるのかもしれないが、インフルエンザが流行している現状、羽島市でもこのようなことがあると仮定して、以前のように体温を測って学校に報告する等の対応をしなければ、感染を防げないのではないかと思う。

(事務局)

- ・ 羽島市では現在でも、コロナが5類になる以前と同様に、朝に健康観察を行っており、高熱を担当が把握していれば、帰宅させなければならない。

ただ、5類になったということもあり、学校の健康観察が形骸化している可能性もあるので、インフルエンザの流行を鑑み、学校への注意喚起を行う。

(2) 学校事故の怪我について、関節等が損傷した場合、成長が阻害され、左右で腕の長さが変わることとも言われている。被害生徒はまだ成長段階にあるので、サポートをしてあげて欲しい。

(事務局)

- ・ 貴重なご意見に感謝する。

【説明】**【西部幼稚園長補佐】**

- ・ インフルエンザ等の感染拡大は今のところない。
- ・ 10月末には、制限なしで運動会を実施し、祖父母の方にも多く参加していただくことができた。
- ・ 園の畑で育てたサツマイモを使い、苗植えから関わってくださった地域の方と焼き芋会をして、4年ぶりに一緒に食べる事ができた。来月は餅つき会を行う。
- ・ 現在開催中の「福寿町みんなの防災文化祭」にて、作品の出展と見学で参加させていただく。

【南北学校給食センター所長】

特になし。

【生涯学習課長】**(1) 子ども会壁新聞展（11月23日～26日）**

文化センター1階「円空」において、各子ども会の力作が展示されており、昨日は188名の方に見ていただいた。

なお、子ども会加入率の低下に伴い事業数を精査した結果、今年の第50回という節目をもって、やめることになったとのことである。

(2) 不二竹鼻町屋ギャラリーについて

10月7日より開催中の「一瞬の〈リアル〉を描くー上田薫の世界ー」が終了するが、昨日まで744の方にご来場いただいている。

(3) 羽島市文芸祭の優秀作品の展示会（11月30日～12月7日）

昨年度はぐるっと羽島のみでの展示だったが、今年は文化センターにおいても展示する。ぜひご覧いただきたい。

【図書館長補佐】

特になし。

【スポーツ推進課係長】**・ フライングディスク教室（11月12日）**

岐阜県立羽島特別支援学校の体育館にて、特別支援学校の在籍児童生徒及び市内小中学校の特別支援学級の児童生徒を対象に開催した。

26名の児童生徒および保護者が参加した。

・ サッカー教室

FC岐阜によるサッカー教室を11月17日に堀津小学校で行い、児童115名が参加した。11月29日は桑原学園にて児童82名を対象に行う予定である。

・ 羽島市ファミリースポーツ広場（11月19日）

羽島モアスポーツクラブ、羽島なごみスポーツクラブ、羽島南部スポーツ村の協力のもとで、羽島中学校、

	<p>竹鼻中学校、桑原学園にて実施された。当日は、3ヶ所合計で、総勢300名を超える参加者が来場された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第33回羽島若獅子駅伝競走大会（12月3日） 参加チーム申し込み状況は、一般男子の部が10チーム、中学生男子の部が9チーム、中学生女子の部が6チーム、合計25チームである。 <p>【事務局長】 特になし。</p>
議長	<p>委員の発言を求める。（委員等から次の通り発言、確認あり。適宜職員等が次の通り説明し、了解を得る。）</p> <p>【森教育長】</p> <p>(1) 生涯学習課の子ども会壁新聞展に関し、子ども会加入率低下の理由について、子ども達的意思なのか、保護者の意向なのか。教育委員会の所管ではないが、児童が参加するものであり、気になる場所である。</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年子ども会加入率は76.6%で、年々、低下している。また、大前提として、自治会加入率も低下している。 コロナ禍のため行事が未実施の年が続いたこともあり、子ども会の行事を行わなくても特に問題ないのではないかという意識になってきている部分がある。また、「周りがやめているから自分もやめる」といったケースもある。 <p>(2) 人数の多寡にかかわらず、子ども会の活動をやりたい子がいれば実施してもよいと思うし、人数に合わせた活動にすることもできるのではないかと。</p> <p>行事を行わないことの影響について、大人が感じなかっただけで、子どもの中には、行いたい子もいたのではないだろうか。学校とは別の場所で、子ども同士で何かをやるのが子ども会の良さだと思うので、子どもの意見も聞くことも一つの考えだと思う。</p> <p>教育委員会の所管でいうなら、羽島市のPTAは大改革され、形式的な会議や組織は廃止して、活動に専念できるような組織となった。</p> <p>全く同じことはできないかもしれないが、子どもたちにとって魅力があり楽しめる行事を、大人がどうサポートしていくかを考えた方がよいのではないかと。</p> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> 貴重なご意見に感謝する。 <p>【今枝委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔は町内で子ども会が盛んだったが、今は誰も入っていないという話を聞くことがある。「地域で子どもを育

てる」といったときに、自治会、社会福祉協議会、各種団体等の地域組織が集まり、コミュニティセンターを中心に様々な活動をするが、それらに個人で参加できる子どもや親は多くないと思う。

子ども会は団体で行動するため、様々な活動に子どもたちが参加しやすくなる入り口の機能があるのではないか。これがなくなることは、街づくりや市の活性化を推進する上で痛手だと感じる。

(事務局)

- ・ 貴重なご意見に感謝する。

【今井田委員】

- ・ 昔、子ども会役員を担った身としては、町民運動会において、子ども会対抗のリレー等に参加できない、子ども会に入っていない子たちの悲しそうな顔を見ていた。

確かに、月に1回2時間程の会議に参加し、次の事業を考えることが毎回大変だったが、1年が終わった後は「楽しかったな」と思った。大人の負担はもっともだが、行事を絞って行い、子どもたちが楽しむ様子を保護者も感じることができればよいと思う。

(事務局)

- ・ 貴重なご意見に感謝する。

【春日委員】

- ・ 周囲では、「役員の負担が大きすぎる」との声が多い。また、習い事があれば、子どももそちらにエネルギーを使うようになってしまう。

加入者が多い町内は役員も6年生のときだけで終わるかもしれないが、人数が少ない町内は、毎年同じ人が会長をやっているところもある。そのような組織のあり方をまず見直し、子どもたちが本当にやりたいことを行い、保護者も役割としてではなく、みんなで一緒に楽しめるような雰囲気になると、入りやすくなるのではないかと思う。

(事務局)

- ・ 貴重なご意見に感謝する。

閉会	議長	以上で本日の議事日程は全て終了したので、令和5年11月羽島市教育委員会定例会の閉会を宣言する。
----	----	---

午後3時20分 閉会

上記会議の概要を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年11月24日

教育長 森 嘉 長

委 員 今井田 裕 子
